

「働き方改革」が叫ばれる中、誰もが生き生きと働ける職場環境の整備は、官民挙げて取り組むべき大きな課題だ。鳥取県内の企業では、在宅勤務など多様な働き方の導入や、女性が働

きやすいハード整備が広がっている。鳥取県も2017年、県内企業のテレワーク試行の場として託児機能付きサテライトオフィス

東京の自宅でパソコンを起動 出社することなく在宅勤務

通勤時間なく家事や子どもと過ごす時間増える



自宅のリビングで仕事をする小松菜々子さん（東京都内）

家庭充実させながら しっかり働ける環境に

LASSIC・システムイン テグレーション部の小松さん

午前9時。東京都内で暮らす小松菜々子さんが、自宅のリビングでパ

ソコンを起動させた。小松さんは、ウェブ制作などを手掛ける(LASSIC

（鳥取市南吉方3丁目、若山幸司社長）のシステムインテグレーション部に属する正社員。ただ、鳥取市の本社に出社することはなく、業務は全て自宅で行う。
以前は関東の複数の企業で、システムエンジニアとして勤務していた。子育てと仕事の両立を模索していたところ、在宅勤務のシステムエンジニアを募集するLASSICの求人を見つけた。2017年7月に採用された。
仕事の時間は本社の社員と同じく、午前9時から午後6時まで。以前のような通勤時間がない分、家事をしたり子どもと過ごしたりする時間が増えた。小松さんは「家庭を充実させながら、しっかり働ける環境はありがたい」と喜ぶ。
06年設立のLASSICは業務拡張のため、12年から拠

点を増やし、東京や福岡などに事務所を開設した。一方で、即戦力を全国から集めようと、在宅勤務を認める採用を17年にスタート。現在は小松さんのほか、神奈川県在住の男性1人が在宅勤務で働いている。
在宅勤務者はプロジェクトチームごとに行う毎日の朝礼や週1回の会議にウェブカメラで参加。パソコンにログインした際には、ウェブカメラでチーム全員の様子を一望表示し、やりとりできるようにしており、互いの距離感を縮めている。
同社は在宅勤務のほか、小学校が休校になった際の子連れ出勤や、社業以外の「副業」をすることなど、多様な働き方を取り入れている。西尾知宏副社長は「生産性を高められれば、勤務場所や時間にとらわれる必要はない。社員一人一人が生き生きと働ける方を模索しながら、事業拡大を図りたい」と話す。

進む多様な柔軟な働き方

託児機能付きサテライトオフィス

体に勤務する従業員の家庭と、託児施設と連携したサテライトオフィスを鳥取、米子両市に設置した。同じくもを預け、職場との間をインターネット回線で結んでテレワークなど、多様な働き方として県内企業に利用を呼び

401 本通ビル2・4階
町55-3 3階
■開所 鳥取/月～金曜日、
米子/月～金曜日、
■設備 テレワークスペース
託児スペース
■託児 鳥取/0歳児～おお
米子/0歳児～おお

■料金 無料（託児サービス
■利用 鳥取県内に在住または
に勤務し、仕事とする人（勤務先の
■問い合わせ 鳥取/鳥取本通商店街振
ファクス0857(22)
hondori@hal.ne.jp
米子/管理事務所（保育ル
ファクス0859(21)
@hakuchou-care.

興組合、電話0857(22)6611、
6634。メールアドレスは
ム・ミキッズ内）、電話・
0098、メールアドレスmikids
jp

鳥取県内企業の事例紹介

鳥取県の託児機能付

鳥取県は、県内企業・団と仕事の両立を支援しよう

■場所 鳥取/鳥取市栄町
米子/米子市昭和
■開所 鳥取/月～金曜日、
米子/月～金曜日、
■設備 テレワークスペース
託児スペース
■託児 鳥取/0歳児～おお
米子/0歳児～おお
■料金 無料（託児サービス
■利用 鳥取県内に在住または
に勤務し、仕事とする人（勤務先の
■問い合わせ 鳥取/鳥取本通商店街振
ファクス0857(22)
hondori@hal.ne.jp
米子/管理事務所（保育ル
ファクス0859(21)
@hakuchou-care.

「この壁紙なら、この色
うと思いますよ」。建築業の(株)

米子市内で一戸建て住宅を建
設中の夫婦に提案した。
奥森さんは大阪市内の専門

鳥津組・設計コーディネーター 一部の奥森さん

鳥津組（米子市観音寺新町3
丁目、鳥津志朗社長）の商談
室で、設計コーディネーター
部の奥森まみさん（38）が、

学校を卒業
後、2000年
に入社。2級
建築士の資格
を持ち、住宅設
計などを担当
した後、10年以
上にわたり、家
造り全般の相
談に乗るコー
ディネーター
を務めている。
入社2年後
に結婚し、長
男を出産し
た。コーディネ
ーターは、打

本社新築移転、トイレ 更衣室を男女別に整備



新築した鳥津組の社屋。女性が働きやすいようにハード面も整備した

ち合わせなどで施主の都合に
合わせた勤務になることから、
子どもが小さい時は、時間の
融通がきく営業事務に配置転
換してもらった。「会社の配慮
や周りの社員のサポートが本
当にありがたい」と感謝する。
同社は1999年、主業務
を土木建築から住宅建築にシ
フト。住宅は夫婦間で特に妻
の意向が反映されることが多
いため、女性社員を計画的に
増やした。現在、社員33人の

うち16人を女性が占める。
10年前からは、女性社員4
人が鳥取県西部の顧客160
0世帯を定期的に訪問。施工
後の設備の劣化具合などを聞
き取り、リフォームの受注につ
なげている。きめ細かなアフタ
ーフォローで信頼関係を築いた
結果、新規受注の約8割が
顧客からの紹介となっている。
女性活躍のための就労環境
整備にも力を入れる。産休・育
休制度のほか、3年前からは
フレックスタイムを導入。今
年1月には、本社移転新築を
機に、男女共用だったトイレ
や更衣室を男女別に改め、ハ
ード面も改善した。
女性の新規採用には今後も
力を入れる方針で、鳥取県が
17年10月に米子市内に設けた
「託児機能付きサテライトオ
フィス」を利用し、設計業務
などでテレワークの活用も検
討している。鳥津社長は「建
築業の価値を高めていく上で
女性の力は不可欠。女性社員
が働きやすい環境を整えてい
きたい」と話している。

子どもが小さい時、時間の融通 がきく営業事務に配置転換

会社が配慮してくれて周りの社員もサポート



住宅の内装について説明する
奥森まみさん＝米子市観音
寺新町3丁目、鳥津組

「この壁紙なら、この色
うと思いますよ」。建築業の(株)